

# 平成 30 年度 工業会事業計画

## I. 基本方針

平成 30 年度は北朝鮮問題と並行し米国トランプ政権の経済政策による貿易関税の問題等が予測されます、そして中国の緩やかな減速、EU 圏に於ける政治の不安定要素が絡む中、不透明感はあるが昨年同様、米国の好循環による経済拡大基調に期待が掛かっています。

その様な中 政府によるアベノミクス継続で人づくり革命など、経済界が動き始め大手企業を中心に景気回復感がみられます。

しかし我々中小企業の成形業界は原料高、エネルギーコスト高、人手不足や人件費の増加等コストアップ要因が揃い、相変わらず外国製品との価格競争に遭遇しています。

下請法の遵守によりコストアップ要因を製品単価に反映されるよう様、業界が一丸となりに取り組む事が重要です。

本年も大変厳しい環境の中で“ものづくり”を継続する事が予想されます。

海外製品との競争に打ち勝つため、経営者同士の情報交換と連携が重要で有ります、そのために経営者同士の勉強会を開催し、会員に広めて行きます。関係研究機関はじめ協力企業、そして全日本プラスチック製品連合会や三協会と連携し、上記の基本方針に従い下記の事業を実施し業界の発展に努力する。

### 重点項目

#### 運営指針

経営者の勉強会を中心に活動

技術力を高め・知恵と協力で激動の年を乗り切る

後継者の育成

1. 経営者の勉強会(研修会)、先を見る目を養う、後継者の育成、国内研修、海外研修
2. AI や IoT 事業の情報収集と勉強会
3. 技術で生きる、『得意技術』を育てるため、研究機関や成形機械・材料・周辺機器メーカー及び、『会員企業間の連携』を積極的に取り組み実施する
4. 学べる場、研修会、工場見学会等を実施する
  - ・生産システムの技術研修会を実施し、会員企業のシステム構築に役立てる
  - ・高精度、高付加価値製品の技術研修会を開催し、開発力を向上させる
  - ・KPMフォーラム[県立産業技術総合研究所協賛]の開催
5. 技能者・技能士会育成支援、技能検定試験への積極的に応援
6. ホームページ・ネットワークの有効活用と広報活動の推進
7. 会員名簿の更新継続
8. 事業の継承や技術相談のフォロー体制を整える
9. 人材獲得と育成に関する事業の実施
10. 東、中部、西日本、各協会と連携を深め、情報の共有化と事業の効率化をはかる  
関係団体や関係諸官庁との連携・協調による事業の展開
11. その他必要な事業(求人、求職者の紹介等)

## II. 実施方法

会議の開催、委員会活動及び事業

### 1. 会議の開催

- (1) 総会 1 回以上(通常総会及び臨時総会)
- (2) 総務委員会(企画委員会) 随時
- (3) 理事会 3 回以上(定例理事会及び臨時理事会)

### 2. 会長直轄部会

#### (1) 総務委員会(随時)

事業計画案と予算案の策定、予算管理、決算、会長諮問事項の検討、会員増強、50 周年記念事業、他協会との連携運営の研究、不況対策、各種保険、関係諸団体・関係諸官庁との協調事業と情報交換、その他工業会運営についての企画立案

#### (2) 経営者勉強会(随時)

既成概念にとらわれず、身近な事から将来のプラスチック成形業の生き方を探る

#### (3) 支部長会・正副会長会(3 回)

会員増強の推進、支部間の情報交換と支部活動の活性化による組織の強化

#### (4) 環境管理委員会(随時)

CO<sub>2</sub> 問題・廃プラ処理・ISO 環境関連法規・条例等の研修会の実施

### 3. 運営部会

#### (1) 経営労務改善委員会

経営改善、労働福祉、人材確保、能力開発等の講演会・研修会を開催する

- ・ 市場動向と実態の把握
- ・ 労働法規等の研修会開催及び関連情報を流す
- ・ 会員間の休職求人情報及び紹介

#### (2) 情報委員会

広報誌「プラスチック神奈川」・原稿の作成、編集と発行、「プラスチック神奈川」による工業会事業の広報活動、ホームページ利用の促進、Eメールによる情報発信

### 4. 技術部会

技術協会の事業計画と重複するため、神奈川県プラスチック技術協会通常総会議案書の事業計画(案)「II. 実施方法」に記載

### 5. 関係団体及び関係官庁との協調事業

本会の各事業を有効的にしかも円滑に推進するため、全日本プラスチック製品工業連合会と各地区協会や異業種団体をはじめ、神奈川県、横浜市、行政関係機関及び神奈川県プラスチック事業健康保険組合、各地区商工会議所など関係諸団体との連携をし、事業展開を図る